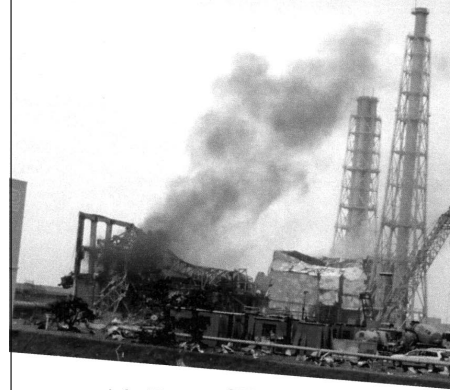


これでいいのか

福島原発

マスコミ報道で欠落している
重大問題を明示する



報道事故

伊東達也、館野淳、崎山比早子、塩谷喜雄
布施裕仁、三枝和仁、齊藤春芽
丸山重威 編著

**緊急
説明** メディアは何を論じ、
何を伝えてこなかったのか
徹底した国民的議論のために
今、大切なことは何か

あけび書房

四六判・240ページ **1680円** ISBN978-4-87154-102-2

あけび書房 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-9-5 TEL.03-3234-2571 FAX.03-3234-2609
E-mail : akebi@s.email.ne.jp http://www.akebi.co.jp 価格は税込

報道関係者と全国民に訴える 渾身の緊急出版!

ジャーナリスト、関東学院大学教授
丸山重威 [編著]

5月末発売

目次と著者

- まえがきに代えて 福島原発事故とジャーナリズム **丸山重威**
- 1章●「想定」されていた原発事故
原発問題住民運動全国連絡センター筆頭代表委員 **伊東達也**
- 2章●原子力開発における言論抑圧と安全神話の形成
元中央大学教授、工学博士 **館野 淳**
- 3章●低線量被ばく報道はこれでいいのか
元放射線医学総合研究所主任研究官 **崎山比早子**
- 4章●原子力、報道と広報の限りなき同化
元日本経済新聞論説委員、科学ジャーナリスト **塩谷喜雄**
- 5章●原発労働者“被曝”の実態 ジャーナリスト **布施祐仁**
- 6章●「安全キャンペーン」の系譜と「がんばろう日本」の
仕掛け人 マスコミ9条の会事務局長 **三枝和仁**
- 7章●「脱原発」の声と運動はどう報道されたのか
環境ルポライター **齊藤春芽**
- 8章●バラ色の原発推進論とメディアの責任 **丸山重威**
- 資料編◆メディアが重視しなかった大切な声明集

●同時発売● 脱原発社会、放射能汚染などを考え合うために

脱原発、再生可能エネルギー 中心の社会へ

福島原発事故を踏まえて、
日本の未来を考える
日本環境学会会長 **和田 武** [著] ●1470円

人間と環境への 低レベル放射能の脅威

福島原発放射能汚染を
考えるために
グローブ、スターングラス [著]
肥田舜太郎、竹野内真理 [訳] ●3570円

ご購入のうえ、最寄りの書店か取扱先、あるいはあけび書房か著者へご注文下さい。

キリシ線

『これでいいのか 福島原発事故報道』を() 冊注文します

書店印・取扱先

その他・備考

氏名・団体名

送り先 〒() () ()

ご担当者
氏名

電話 () () ()

注文書

発行
FAX 03-3234-2609
TEL 03-3234-2571
あけび書房